

氏名：藤井 宣成

所属専攻・職名：工学部 物理工学科 機械システム学コース 4年

派遣国：アメリカ合衆国

派遣先(研究機関名)：カリフォルニア大学デービス校

受入研究者(職・氏名)：Prof Janis Williamson, International English and Professional Programs Director

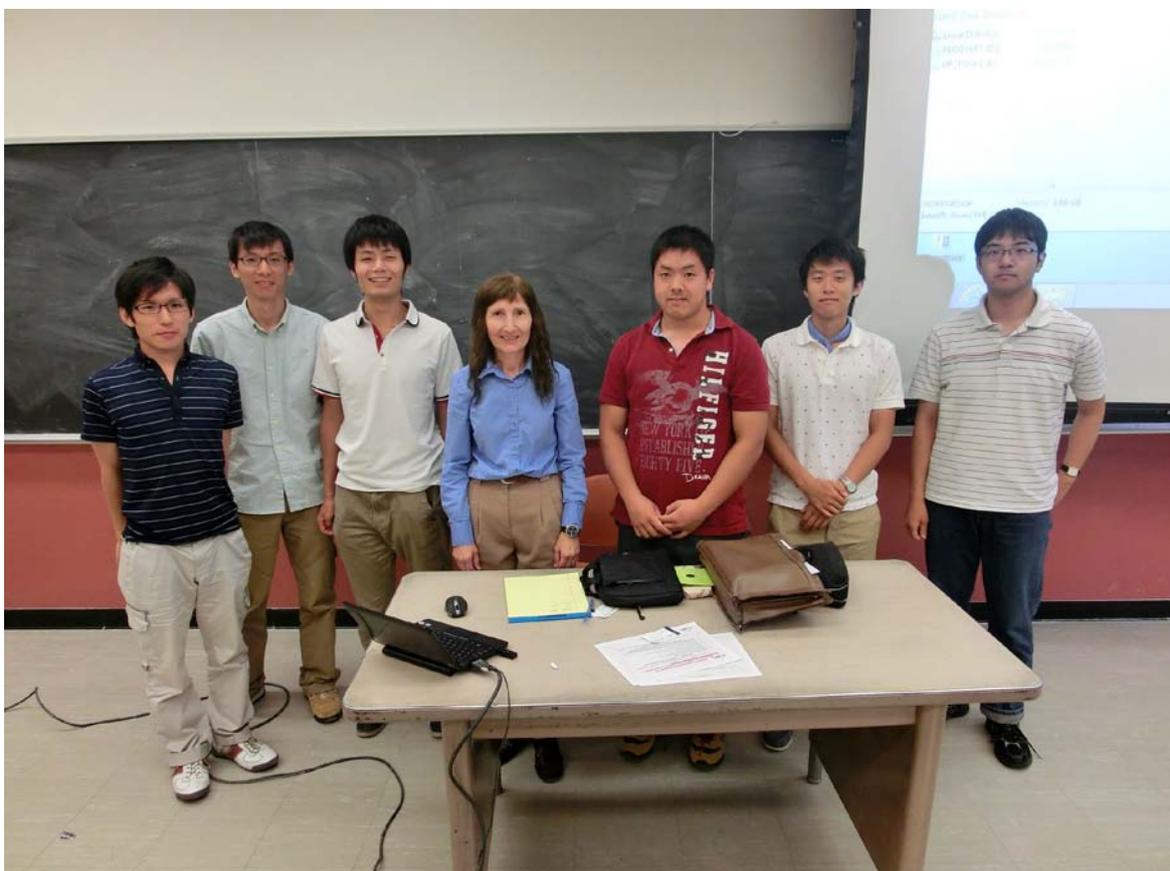
派遣期間：2012年8月9日～2012年9月3日(26日間)

派遣先での研究テーマ：UC DAVIS EXTENSION 京都大学 UC 実習型・夏季短期留学プログラム

(-UC DAVIS EXTENSION- KYOTO UNIVERSITY ENGLISH FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY INTERDISCIPLINARY RESEARCH PROGRAM)

【研究実施概要】

このプログラムは4つの科目から成り立っており、アカデミックな語彙力を身に付ける”Hot Topics in Science and Technology”、正しい発音を身に付ける”Listening and Pronunciation”、様々な分野で活躍する方々に講義をしていただく”Program Lectures”、そして今回のプログラムのメインテーマとも言える”Interdisciplinary Research Project”という構成だった。今回のプログラムではグループごとに研究テーマが設定されており、私たちのグループのテーマはSpace Scienceだった。Interdisciplinary Research Projectにおいて、私たちは機械・航空宇宙の分野に関する3つのフィールドワークを行った上で、自分たちが学んだ事をパワーポイント形式でまとめ、最終日にプレゼンテーションを行った。一つ目のフィールドワークではUCDの機械・航空宇宙工学の教授にプレゼン形式で講義をしていただいた。二つ目のフィールドワークではNASA Ames Research Centerのミュージアムを訪れた。三つ目のフィールドワークではスタンフォード大学の実験物理学の教授方に研究施設を案内していただいた。これらの実習で学んだことをベースとし、方法、距離、または過去と将来などの様々な側面からの宇宙探索の説明を目的として、最終的に私たちのプレゼンテーション「Space Exploration」を発表した。



【研究成果概要】

今回のプログラムの主な目的は英語力の向上であり、これについては次の項目で記述する。その他の目的として、プレゼンテーションスキルの習得があった。これに関してはかなりの成果を得られた。まず、出発前の時点で、プレゼンテーションというものに関して殆ど知らない状態であったが、授業で一から学ぶことによってある程度自分で実行できるようになった。授業では具体的に語彙やプレゼンテーションの構成、話すスピードや発音などを学び、そして実際に様々な研究者方のプレゼンテーションを見学した。平行して自分達がフィールドワークで得たことを実際にプレゼンテーション形式にまとめ、発表の練習をして最終的に先生、学生の前で発表することができた。また、今回はすべて英語でのプレゼンテーションだったが、今回習得したことはプレゼンテーションそのものに関する基本的なスキルであり、日本語であっても十分に応用が効くと思われる。

【外国語のスキルアップ・コミュニケーション能力の向上、海外におけるネットワークづくり】

今回のプログラムは3週間という短いものであったので、英語力検定試験で測られるような英語の実力が大幅に上がったわけではないが、3週間の生活のうちほとんどを英語で過ごすことで、かなり英語のコミュニケーションには慣れることができた。特にリスニングにおいて、ホームステイ先の家族は皆話すスピードが早く、初めは一回で聞き取ることが困難だったが、終盤ではかなりスムーズに聞き取れるようになった。また、英語に慣れることで帰国してからの英語の学習にも意欲などの点で弾みをつけることができた。



【派遣の感想】

参加以前より、私はアメリカで自分の専攻である機械または航空宇宙工学を学んでみたいと思っていたが、今回このプログラムに参加して一層その考えが強まった。現在世界では中国などの新興国が台頭している中、大学でも世界に通用するグローバルな人材の必要性が常に言われ続け、私も少なからず海外経験の重要性を感じていた。そんな中で、私は以前から機械・航空宇宙産業の先進国であるアメリカで一度学んでみたいと思っていた。そこへ今回のプログラムのことを知り、海外留学の第一歩としてはまたとない機会だと思った。

今回の経験を経て、海外留学について意欲が深まるとともに、より具体的に考えることができるようになった。実際に自分の興味のあることを少しでも学んでみて、やはりアメリカでもっと学んでみたい、という気持ちがさらに強まった。また、

学校のことだけでなく、今回初めてホームステイさせていただき、外国での生活というものもある程度体験することができた。コミュニケーションについて抱えていた疑問・不安などもかなり解消することができた。総合して、今回のプログラムでは、初めての経験としてはこれ以上ないほど充実しており、能力や意欲など様々な面で次回の留学につなげる準備ができたと思う。次回の留学はどうかまだわからないが、できれば在学中に長期留学し、本格的に自分の専門を学んでみたいと思う。